

第68回全国消防技術者会議の開催報告

消防研究センター

11月26日(木)の午後、第68回全国消防技術者会議をオンラインにて開催しました。この会議は、消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発の成果などを発表し、消防職員をはじめとする消防関係者や消防研究センターの研究官が意見交換を行う場として、昭和28年より職員が運営を担う手作りの会議として毎年開催しているものです。

特別講演では、東京理科大学の大宮喜文教授から「過去から令和の時代の建築防火を考えるー性能規定と防災計画の視点からー」と題してご講演いただきました。また、研究発表セッションでは、消防防災科学技術賞受賞作品から9編(論文3編、開発・改良3件、原因調査3件)の発表と、消防研究センターから2編の研究発表を行いました。

今回は参加者と職員の感染リスクの低減とともにCOVID-19がどのような状況にあっても会議を開催し「議論を止めない」ことを第一の目標に定め、特別講演と研究発表は事前に動画を収録して必ず配信ができるよう準備しました。また、リアルタイムの議論を重視して質問やコメントを配信サイトのリンク先のフォームに入力する形をとりました。それをセッション座長が受け取り、消防研究センター内の配信会場(写真1)や地元の消防本部からオンライン会議システムに接続した発表者との間で質疑応答を行う様子を配信しました。

会議への参加申し込みは584件で、事後アンケートの結果、244件(回収率42%)の回答の中だけでも、1,032人が参加聴講していたことが判りました。また、46都道府県から参加があり、特に遠方の参加者が増加し、オンラインのお陰で参加できたとの言葉も多くいただきました。

なお、配信に用いたYouTubeの同時視聴者数の表示は100前後を推移していましたが、最終的な総再生時間は2,069.8時間となり、会議の配信時間が4時間35分(4.58時間)であることから、少なくとも常時451人(回線)が接続していたこととなります。これは外部の情報処理サービスを使用する難しさであると言えるでしょう。

直接会うからこそ可能なきめ細かな意見交換の場や、

配信費用の確保などは課題として残されました。会議準備や運営は試行錯誤の連続でしたが、無事滞りなく会議と配信を終えることができました。ご協力くださった多くの皆様に感謝申し上げます。

次回の全国消防技術者会議の詳細に関しましては、決まり次第、消防研究センターホームページ (<http://nrfd.fdma.go.jp/>) 等によりご案内いたします。



写真1 配信会場での質疑応答の様子



写真2 聴講席の様子

問い合わせ先

消防庁消防研究センター 研究企画室
TEL: 0422-44-8331 (代表)